

会 議 録

第 1 5 回定例会

開会 平成 2 2 年 1 1 月 5 日

教育委員会会議録

- 1 開 会 平成22年11月5日 午後2時
- 2 閉 会 平成22年11月5日 午後4時3分
- 3 出席委員
委員長 佐藤 盛仁
委 員 西池 氏裕
委 員 水口 艶子
委 員 山田 喜三郎
委 員 佐藤 紘子
委 員 (教育長) 福家 清司
- 4 出席者
副 教 育 長 小谷 敏弘
教 育 次 長 吉田 顕太郎
教 育 次 長 高橋 博義
教 育 改 革 課 長 中村 章人
学 校 政 策 課 長 西浦 宏明
教 育 総 務 課 長 犬伏 秀之
教 育 総 務 課 副 課 長 折野 好信

[開 会]

委員長 定例会を開会する旨を告げる。

[会議録の承認]

委員長 配付されている会議録（第14回定例会）を承認して差し支えないかを各委員に諮る。

各委員 異議なし。

委員長 会議録を承認する旨を告げる。

[議 事]

委員長 議事に入ることを告げる。

《議案第38号 鳴門市地域・新設統合高等学校体育科（仮称）の設置について》

委員長 説明を求める。

教育改革課長 体育科（仮称）の概要、特色等を説明する。

これについては、

山田委員から「専攻実技種目について見直しの予定の有無、大学等の外部講師の選定状況」について質疑、

水口委員から「福祉系科目で取得できる資格」について質疑、

佐藤（紘）委員から「専攻実技と体育実技の違い」について質疑があった後、

委員長 議案第38号を原案どおり決定してよいかを諮る。

各委員 異議なし。

委員長 議案第38号を原案どおり決定する旨を告げる。

《協議事項1 新設統合高等学校（鳴門市地域、吉野川市・阿波市地域）の校名の決定について》

委員長 説明を求める。

教育改革課長 校名募集の状況、校名候補選定委員会の審議概要と校名候補選定結果等を説明する。

これについては、鳴門市地域の校名について、

西池委員、佐藤（紘）委員から「各校名候補の委員推薦数の意味合い」について質疑、

水口委員から「校名候補のうち『鳴門総合』の『総合』という言葉のとらえ

方」について質疑、
教育長から「『総合』は、『総合学科』と『中核施設』の2とおりのとらえ方がある」旨の発言、
水口委員から「『総合』という言葉は、とらえ方により意味合いが変わることが危惧される」旨の発言、
佐藤（紘）委員から「過去の統合校における校名選定の過程」について質疑、
教育長から「2校が統合することを考えると、『総合』を『総合学科』ととらえた場合、統合する意味が生かされないのではないか」旨の発言、
山田委員から「『鳴門総合』とすると『総合』と言う言葉の意味合いにより、鳴門地域の既存の学校に影響があるのではないか」旨の発言、
教育長から「学科の再編により校名変更の可能性はあるのはよくないのではないか」旨の発言、
佐藤（紘）委員から「『渦潮』のようなブランド名がついた高校名の有無」について質疑、
西池委員から「『鳴門総合』は『鳴門高校』との差がわかりにくい。方角を入れた校名である『鳴門南』がオーソドックスでよいのではないか」旨の発言、
山田委員から「『鳴門総合』は『鳴門高校』との関係が整理できない。『鳴門渦潮』は新鮮な感じがしてよいと思う」旨の発言、
委員長から「校歌などを考えるとこれからの時代として『鳴門渦潮』がインパクトがありよいのではないか」旨の発言、
西池委員から「『鳴門渦潮』はインパクトがあるが、『鳴門』と『渦潮』はダブルイメージがあるのが気になる。『鳴門南』と『鳴門渦潮』の応募件数に大きな差があることも考慮する必要がある」旨の発言、
教育長から「略称も考慮する必要がある」旨の発言、

吉野川・阿波市地域の校名について、
全委員から「吉野川が適当である」旨の発言、
水口委員から「どの地域からも喜ばれる校名だと思う」旨の発言、
山田委員から「他都道府県における同名高校の有無」について質疑、
佐藤（紘）委員から「吉野川・阿波市地域の新設統合高校の設置場所」について質疑、

鳴門地域の校名について、
山田委員から「新しく体育科ができるので校名はインパクトを出したい」旨

の発言、
西池委員から「『鳴門南』とした場合、推薦数が少ないことが気になる」旨
の発言、
教育長から「各校名候補の総推薦数からみた順位」について質疑、
西池委員から「関係者の希望は重きを置くべき要素であるので、推薦数が多
い『鳴門渦潮』がよいのではないか」旨の発言、
教育長から「『鳴門南』は既存の高校の南側ととられる可能性が危惧され
る」旨の発言、
委員長から「推薦数からして、関係者の思い入れが強い『鳴門渦潮』がよい
のではないか」旨の発言、
西池委員から「大きくたくましく輪をつくって、徳島も変わってほしいとい
う思いで『鳴門渦潮』がよいのではないか」旨の発言、
教育長から「『鳴門渦潮』は体育科の勢いを示すという意味でよいと思う」
旨の発言があった後、

委員長 協議事項1を議案第39号として付議してよいかを諮る。

各委員 異議なし。

委員長 議案第39号について「鳴門市地域の新設統合高等学校の校名を鳴門渦潮
高等学校」とし、「吉野川市・阿波市地域の新設統合高等学校の校名を吉野
川高等学校」として決定してよいかを諮る。

各委員 異議なし。

委員長 議案第39号について「鳴門市地域の新設統合高等学校の校名を鳴門渦潮
高等学校」とし、「吉野川市・阿波市地域の新設統合高等学校の校名を吉野
川高等学校」として決定する旨を告げる。

《報告事項1 高等学校就職支援員配置事業について》

委員長 報告を求める。

学校政策課長 事業の趣旨、配置人数等を報告する。

これについては、

佐藤（紘）委員から「支援員の条件や資格」について質疑、
水口委員から「支援員配置校の考え方」について質疑、
西池委員から「支援員配置校における就職希望者数」について質疑、
西池委員から「支援員1人あたりの就職希望者数を公平にする必要があるの
ではないか」旨の発言、
山田委員から「公募の方法、直近の就職未内定者数」について質疑、
水口委員から「支援員の募集を各学校で行った理由」について質疑、

西池委員、山田委員から「支援員は必要なところに重点的に配置し、学校間で柔軟に活動できる体制とする必要がある」旨の発言、
西池委員から「教育委員会に配置する支援員の役割」について質疑、
教育長から「求人 の 2 次募集が終わった今の時期における支援員の主な役割は、生徒への面談と新規求人の掘り起こしである」旨の発言、
西池委員から「就職未内定者を 1 人でも少なくするためにはどうしたらよいか」という発想で取り組んでほしい」旨の発言、
山田委員、佐藤（紘）委員から「個人情報の取り扱いには十分注意してほしい」旨の発言があった後、

委員長 報告事項 1 を了承する旨を告げる。

[閉 会]

委員長 本日の議事が全て終了したので閉会する旨を告げる。

閉 会 午後 4 時 3 分